

● 須崎市海のまちプロジェクトに基づく 「須崎大漁堂」企画・開発へのご協力について

各 位

令和4年12月

高知信用金庫（理事長・山崎久留美）は、須崎市（楠瀬耕作市長）と主催する「須崎市海のまちプロジェクト」による地域活性化策の一環として、「須崎大漁堂」の企画・開発にご協力させていただきました。須崎大漁堂のコンテンツ開発には、公益財団法人地域みらい財団（理事長・山崎久留美）も、ご支援させていただいております。



須崎大漁堂は、須崎市の中央商店街に建つ、朱色の木組みに囲まれた建物です。コンセプトは、人々が集まる「お堂」。まちの人たちが気軽に集える憩いのスポットとして誕生しました。地域の「いいもの」をギュギュッと集めたアンテナショップの役割も担っています。

【施設概要】

施設名：須崎大漁堂

住所：須崎市青木町 1-19

電話：0889-59-1881

オープン日：2022年12月10日（土）

ウェブサイト：<https://www.combank.co.jp/susaki-tairyodo/>

ロゴマークに込められた想い

須崎大漁堂のシンボルマークは、須崎の宝である魚たちが喜び、船に飛び込んでくる様子を描いた宝船。魚に祝福されるまちをイメージしています。

須崎大漁堂のロゴは古い町並みに合うレトロな手描き文字を使い、屋根の妻飾りをあしらっています。



「本物」を随所に用いた、見どころいっぱいの空間

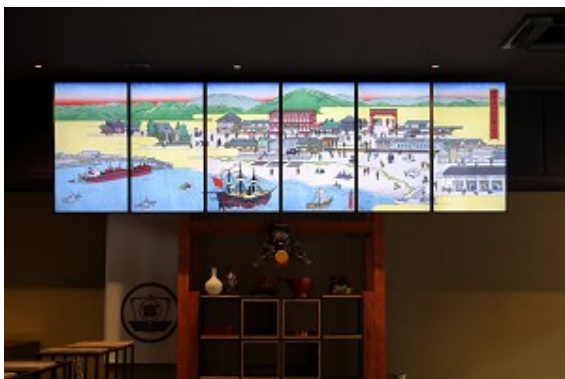
須崎大漁堂は、古い町並みに調和し、まちをイキイキと彩る建物として設計されました。質の高い本物と、モノづくりの情熱があふれる匠の技が随所に光る空間は見どころいっぱいです。



朱色は、人々を活気づける「血潮」の色。自然素材のベンガラの赤色を主として、まわりの町並みと海・山のある風景に合うように調色。夕暮れになると約70個の提灯に灯が点り、どこか懐かしい幻想的な風景を作り出します。



パッと目に入るのが大きな木のオブジェ。枯れて伐採された樹齢300年以上の松の木に新たな命を吹き込んだこの作品は、このまちの再生を見守るシンボリックな存在です。



ひと際目を引くのが、屏風を模した6枚の縦型サイネージ。未来の須崎の姿を描いた現代錦絵が映し出されます。



カウンターや松の木を囲む八角形のテーブル、カフェテーブルなどは、バンクオフィス家具メーカー「秀光」の特注品。そこに調和するのが、和テイストの張地を使った椅子、アイアンの商品棚など、高知市内の「ウフ」がセレクトした家具や雑貨。さまざまな要素がバランスよくミックスされ、楽しい空間を演出しています。

地域の食材を生かしたおいしいもの

須崎大漁堂の「食」は、地域のおいしいものが主人公。「地元の産物を使い、健康にいいものを使って、プロの味を作る」をコンセプトにオリジナルメニューを開発しました。



看板メニューはオリジナルのカレー。「白カレー」は須崎産の真鯛を丸ごと使った、鯛だしとかつおだしがベースの海のカレー。「黒カレー」は四万十ポーク・米豚のひき肉を使ったキーマカレー。どちらも「カラダ思いのプロの味」です。



片手でカジュアルに食べられる大漁堂バーガー3種。バンズに魚のすり身で作ったコロッケをはさんだ「須崎のサカナコロッケ」(右手前)。竹炭パウダーを練り込んだ黒バンズにしまんとターキーのハムとスライスチーズをはさみ、マスタードソースで仕上げた「四万十ターキーとスライスチーズ」(左手前)。バンズに厚切りの四万十ポークのボロニアソーセージをはさみ、タルタルソースをかけた「四万十ポークソーセージ」(左奥)。



魚好きな人におすすめなのは「須崎のサカナ盛り定食」。その日獲れた魚を近所の魚屋さんが捌いて届けてくれるため抜群の鮮度で味わえます。チャウダーは、野見湾育ちの須崎カンパチと地元野菜を使い、米粉とバター、白味噌で風味豊かなやさしい味わいに仕上げました。

須崎大漁堂オープン記念「海のまちマルシェ」開催

須崎大漁堂のオープンに合わせて「海のまちマルシェ」を12月11日(日)に開催します。須崎大漁堂を拠点に、古き良き面影が残る商店街を散策してみてください。

マルシェには、須崎市内はもちろん、高知市からも多彩なショップが集まります。料理やドリンクをその場で作ってくれるキッチンカーも集結します。また特設ステージでは、須崎出身を含む6組のアーティストが登場。歌にパフォーマンスに見ごたえたっぷりのステージをお楽しみください。

<開催概要>

日時：12月11日(日) 午前10時～午後4時

場所：須崎市古市町商店街・須崎大漁堂周辺

ステージ登壇アーティスト：NEW CINEMA WEEKEND 81／三味之刻／ろみことひかる／マジシャン LUNA／CANYUKI／しまたろうとユキおねいさん (from Sandwich Parlour)

お店&キッチンカー出店：四万十やまのうえ商店／fromagerie YAMASAKI／集落活動セン

ターあわ／夢や／hotori／écran／音夢の店／太陽と月／とくひさケータリングサービス／
リセ／領木商店／迫田刃物／畑の食堂コパン／からあげ専門店 TORICO／losers kitchen／
cafe & kitchen サラダ／手作り工房はらっぱ／まーさん堂／Marchy

須崎市海のまちプロジェクトについて

「須崎市海のまちプロジェクト」は、2024年に整備予定の図書館複合施設を見据えた須崎市立地適正化計画に基づく中心市街地の活性化やコンテンツ制作・仕組み創りなど須崎市のアクティブな活動を、当金庫が創立100周年事業として強力にバックアップすることとしており、高知県・信金中央金庫・高知大学・須崎総合高校の産官学連携による強力な支援と各界の幅広い後援を受け、積極的に取り組んでいます。

魅力溢れる奥四万十の玄関口として、当金庫の創業地須崎市がますます発展されるよう、今後とも海のまちプロジェクト推進に貢献してまいります。

以 上